

山本クリニック

令和5年度第1回介護・医療連携推進会議議事録

場所：医療法人 久生会 山本クリニック 1階会議室

開催日時：令和5年9月28日（木）15時～16時

1. 挨拶

- ① 挨拶・・・定期巡回随時対応型訪問介護看護 管理者 遠藤 安岐子
本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。
- ② 出席者自己紹介（別紙資料1参照）

2. 議事内容

- ① 定期巡回サービス提供等状況報告について（別紙資料2参照）

・サービスについて

令和5年6月から8月までのサービス提供ですが、利用者はサービス付き高齢者向け住宅 36名 地域提供が 1名となっています。定期、随時ともに20分以内のサービスが多く平均して日中、17分、夜間、6分となっています。

8月の1か月の状況をみると、要介護1 12名、要介護2 13名、要介護3 5名、要介護4 4名、要介護5 3名で37名の利用となります。

8月の定期のサービス

日中 1320回、1日あたりにすると、43回となり、サービス内容は掃除、トイレ掃除、排泄介助、入浴介助、清拭、陰部洗浄、足浴、口腔ケア、買い物、洗濯等になります。

夜間は3827回 1日あたりにすると、123回となります。18:00～20:00までは就寝の介助で多いのと朝の6:00～8:00までも同じく起床の介助となり、その時間帯はサービスの提供が多くなっています。そのほかの夜間の時間は主に、排泄介助、体位変換、安否確認となります。

随時の訪問としては、日中で1日あたり、6回 排泄介助や安否確認、排泄時の失敗などでトイレ掃除、手浴で訪問しています。夜間は1日あたり、4回 排泄介助や安否確認、水分補給等です。

・職員数について

8月31日現在 介護職員・・・15名

日中（8：00～18：00）・・・4～5名

夜間（18：00～19：00）・・・4名

夜間（19：00～7：00）・・・2名

夜間（7：00～8：00）・・・4名

・地域提供について

前回と変わらず1名となっています。ケアマネージャー様にもお声がけをし、勧めておりますが、同じ時間帯のサービスが多いことで、今の職員数では難しい状況です。他事業所のケアマネージャー様から住宅での定期巡回の利用で理解を頂き、地域提供の相談もありましたが、サービスの提供時間が重なり、時間の調整が出来ず、利用には至りませんでした。

② 事例報告

山本クリニック 定期巡回随時対応型訪問介護看護

介護主任兼計画作成責任者 山下 美有紀

利用者：I様 90歳 女性 要介護 2

状況：一人暮らし

3人の娘様が買い物、通院など身の回りの事を支援されていたが、慢性リウマチ、胃癌もあり、サービス付き高齢者向け住宅 つどいの郷への入居となる。

<利用者ニーズ>

自宅では朝昼兼用の食事、薬が飲めていないこともあり。娘様方も各家庭、仕事もありずっと一緒にいる事が出来ない。体調不良の時が心配。日常生活全般の支援や見守りのもと、家族と過ごす時間を楽しみながら穏やかに過ごしたい。

<提供サービス内容>

・定期巡回随時対応型訪問介護看護

《週1回》居室内掃除

《週2回》入浴→現在は清拭・陰部洗浄

《毎日》モーニングケア・ナイトケア・排泄介助・軟膏塗布・服薬介助・安否確認

《随時》ケアコール対応・排泄介助等

- ・そのほかの利用サービス

福祉用具：特殊寝台・付属品・床ずれ予防マットレス・車椅子・車椅子付属品（クッション）

訪問看護：医療（癌ターミナル状態であるため特別指示にて対応）点滴等

- ・経過

利用開始時は歩行も出来、食事時、ほかの利用者様と会話され、食事も全量摂取できていました。2か月後ぐらいから胃の不快感、食事量の低下、リウマチによる右足親指の痛みから立位が不安定となり、車椅子の利用が増えてきました。入浴も個浴から機械浴に変更。現在は、食事もほぼ食べられず、アルコールを飲まれ、座位では痛みの訴えが強いので、機械浴も困難となり、清拭、陰部臀部洗浄、洗髪等を二人介助にて対応しています。排泄はオムツ交換、パッド交換で対応、ベッド上での生活となっています。

また、痛みや痒み、のどの渇きなどには大きい声で呼んでくれるので、その都度、随時訪問し、安否確認を行い、水分補給、軟膏塗布等を行っています。

娘様方もほぼ毎日面会に来られ、会話を楽しまれています。

定期巡回訪問介護、住宅つどいの郷、訪問看護、家族様方とも連携を取りながら苦痛や不快感を緩和し、精神的にも穏やかに過ごせるようにターミナルケアを行っています。

③ その他事項（サービス提供等以外）について（別紙資料2参照）

- ・サービス付き高齢者向け住宅 つどいの郷 5周年

平成30年4月にオープンして、今年5周年を迎える事が出来ました。

スライドショーを鑑賞・カラオケ

昼食にはお寿司と味噌汁 おやつには紅白饅頭

- ・日方川・亀の川 氾濫により山本クリニック・つどいの郷の被害状況

つどいの郷では1階が浸水し、入居者は2階へ避難し、停電、断水となりました。

停電と断水は翌日復旧出来ましたが、ポンプの復旧には日数がかかったので入浴などに不便をかける事となりました。まだ、自家発電機の交換が済んでいません。

- ・つどいの郷 看板設置

- ・敬老の日 イベント

- ・つどいの郷 入居状況

④ 質疑応答

Q、地域提供については、且来を重点という事か？

A、現在地域提供している方は、日方の方で、且来に重点を置くという事ではないが、住宅での利用者が多く、サービス提供時間が重なっていることや移動の距離、時間を考えると近辺だったら、提供できるかと考えられる。

Q、事業所は名高で、日方の方が近いですが・・・

A、事業所の名高からなら日方は近いですが、住宅での提供がほとんどなので、住宅からの移動となる為です。

Q、サービス付き高齢者向け住宅の入居者が39名、定期巡回の利用者が36名という事は、残りの3名の方は介護サービスを違うところで受けられているのか、自立されて、介護サービスを受けていないのか？

A、要支援の方が3名いらっしゃいます。その3名の方は訪問介護でほかの事業所から来ていただいています。

Q、BCP作成はどうなっていますか？

A、現在、作成中ではあるが、今回の住宅での浸水も踏まえて住宅と連携を取り、作成していこうと考えています。

Q、いつでも必要な時に手助けしていただけるので定期巡回のサービスはいいと思います。

A、ありがとうございます。

Q、夜間の職員が2名ということですが、夜間に何かあった時、この間の浸水など災害時の対応としてはどうですか？数字から見るとこれだけの人数を2人でというのは大変そうだなと思います。

A、緊急の連絡網などありますが、そういう事態の時に職員が出勤できるかとなるとそれも出来ないことも考えられます。今後、そういう事態も考慮して対策を考えてい

かなければならないと思います。

夜間の住宅として職員の配置は無いですが、定期巡回で、サービスを順次提供しています。

Q、定期巡回 げんき様

移動に時間がかかるのと職員不足などが課題です。

A、ありがとうございます。

Q、データを見ると介護度の高い方の方が少ないですが、定期巡回を利用するのに関係ありますか？

A、特に介護度が高い、低いに関して関係はありませんが、住宅へ入居される方がやはり介護度 1、2の方が多いの現状です。

Q、定期巡回のサービスを認知されている一般の方は、そんなに多くないと思うのですが、ニーズはどのように感じられていますか？

デイサービス、ヘルパーさんなどは、よく耳にするサービスだが、看多機や小多機と同じように定期巡回もなんのサービスという方が多数おられると思う。国の方は在宅サービスとして、これから必要になるという流れだが、実際サービスを提供されて、どのように感じられるか？

A、包括報酬なので、限度額内でデイサービスの利用の回数が制限される事、他のサービスが利用しづらいということもある。利用時には訪問介護との違いを説明させてもらっているが、まだまだ認知されていないので、理解を頂くまで時間がかかる。定期巡回はとても良いサービスとは思いますが、利用料の事など難しいと感じるところもあります。

地域提供に関しても、退院後、しばらく定期巡回を利用してもらい、状態が良くなったら、元のサービス（訪問介護）に戻す、という利用の仕方など、定期巡回の利用を勧めていきたいところもありますが、訪問する職員を配置できないのにこちらからケアマネジャーさんに勧めてはいけない状態です。

3、閉会

今後の会議の開催予定

次回開催は、日時等は決定次第ご連絡させていただきます。